

(有)かみむとべ営農 代表取締役社長

池田茂富さん

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

「高齢化が進み、預かる農地は毎年増えている。法人への期待の大きさをひしひしと感じる」と話すのは、福知山市上六人部地域の農業生産法人「かみむとべ営農」代表取締役社長の池田茂富さん(80)だ。

2005年5月に法



▶ 地域農業の要として奮闘する池田さん

省力化さらに進める

人を設立。「耕作放棄地を出さない」を合言葉に、5人が取締役となって経営に当たる。

13年に2代目の社長に就任し、同社を引っ張る池田さんは「法人に関わる者の半数が80代と高齢化してきているが、まだまだ頑張っている。このような現状を踏ま

え、省力化を進めるため、3年前から鉄コーティングによる水稻直播(ちよくは)を始めた。収穫量が上がリ、効率化と経費削減にもつながっている。今までは専用農機を借りていたが、会社で農機を導入し、面積を増やしていく」と意欲的だ。

9・6畝で米を生産してJAに出荷する他、地元の酒造会社の依頼で酒造好適米の契約栽培にも取り組む。農作業受託は58戸から15畝を預かり、今後増える見込みだ。

現在、所有する米乾燥機は小さく、近隣の営農組合に乾燥を依頼している。今後は米乾燥機を更新し、新たなライスセンターの設置や乾燥調整作業の受け入れを計画中だ。

「今後は農作業の省力化と施設を充実させることで、地域になくてはならない法人として地域農業を担い、地域農業のサポーターを目指して頑張りたい」と池田さんは話す。

■法人所在地 福知山市三俣コグレ572。(電)0773-3550576(荻野亮市専務宅)。

■法人概要 2005年設立。取締役5人、パートタイマー10人(農繁期)。経営面積12・6畝(主食用米9・6畝、酒造好適米2・4畝、小麦・小豆「大納言」45ア、大豆「丹波黒」15ア)。農作業受託15畝。農機具 2コンバイン3台、トラクタ13台、田植え機2台、米乾燥機2台。